

ソフトウェアマニュアル

for Mac OS X

対応機種

- *TSP100 Series*
- *TSP650 Series*
- *TSP650II Series*
- *TSP700II Series*
- *TSP800II Series*
- *TSP1000 Series*
- *mPOP Series*

注意事項：

- Mac、MacOS、MacBook、iMac は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
- 本マニュアルの内容は、予告無く変更する場合があります。
- スター精密株式会社は、正確な情報を提供するためにあらゆる措置を取っていますが、誤りや不作為について責任を負うものではありません。
- スター精密株式会社は、このマニュアルに記載されている情報の使用に起因するいかなる損害に対しても責任を負うものではありません。
- 本マニュアルの一部、あるいは全部を無断で複写・複製・転載することは、固くお断りします。

目次

1. インストール / アンインストール.....	2
1.1 Star Printer Drivers のインストール.....	2
1.2 プリンタの登録.....	6
1.3 Star Printer Drivers のアンインストール.....	14
2. プリンタ機能の設定.....	17
2.1 機能一覧.....	18
2.2 スター精密クラウドサービス	23
3. 用紙サイズの設定.....	26
3.1 用紙サイズの設定.....	26
3.2 設定可能用紙サイズ.....	27
4. イーサネット環境を使用する際のガイドライン.....	28
4.1 仮 IP アドレス設定	28
4.2 IP アドレス設定 << StarPrinter TELNET Utility >>.....	30
5. lpr コマンドで使用する際のガイドライン	33
5.1 機能対応一覧.....	34
6. 動作確認環境.....	36
7. 改訂履歴.....	37

はじめに

このマニュアルは、TSP100 シリーズ、TSP650 シリーズ、TSP650II シリーズ、TSP700II シリーズ、TSP800II シリーズ、TSP1000 シリーズ、mPOP シリーズにおける CUPS ドライバのインストール方法、機能概要を説明しています。

イーサネットインターフェイスにてこのドライバをご使用いただくには、あらかじめプリンタへの IP アドレスの設定が必要となります。ご使用の LAN 環境において、DHCP サーバーからの IP アドレスの取得が行えない場合には、事前にプリンタへの IP アドレスの設定を行ってください。プリンタの IP アドレス設定方法につきましては、「4. イーサネット環境を使用する際のガイドライン」をご参照ください。

TSP100LAN 制限事項：

印刷時のドキュメント名が 80 文字を超えていると印刷できません。

例) 80 文字を超えるファイル名がついたドキュメントの印刷

動作環境

- Mac OS X 10.9 ^{*1}
- Mac OS X 10.10 ^{*1}
- Mac OS X 10.11
- Mac OS X 10.12

Bluetooth モデル制限事項

Bluetooth プリンターで印刷可能なページ長は 1500mm 以内となります。

^{*1} Mac OS X 10.9, 10.10 制限事項 (USB モデル)

Mac OS X10.9.4~ Mac OS X10.10 で USB プリンターを使用される場合、プリンター電源 OFF や PC 再起動、また、他の USB 機器の接続などによって、印刷はできるがプリンターキューの表示のみがオフラインになる問題があります。この問題は、USB シリアルナンバーを付与することで解決できます。

パッケージに同梱されている『USB シリアルナンバー付与スクリプト』をご利用いただき、プリンターへの USB シリアルナンバーの付与を行ってください。詳しくは、『USB シリアルナンバー付与スクリプト』に付属のマニュアルをご参照ください。

1. インストール / アンインストール

注意： ドライバのインストール / アンインストールは、コンピュータの管理者権限を持つユーザで行ってください。

1.1 Star Printer Drivers のインストール

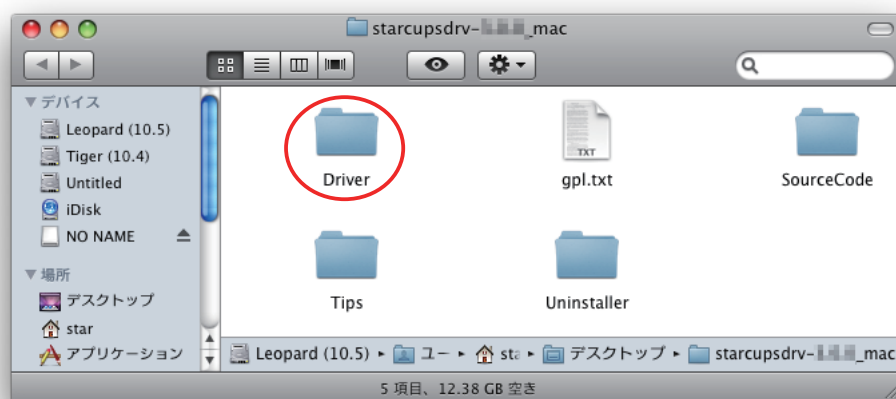
以下の手順に従って、ドライバをインストールしてください。

注記： USB インターフェイスでご使用の場合は、「1.1 Star Printer Drivers のインストール」を行ってからプリンタの電源を投入してください。

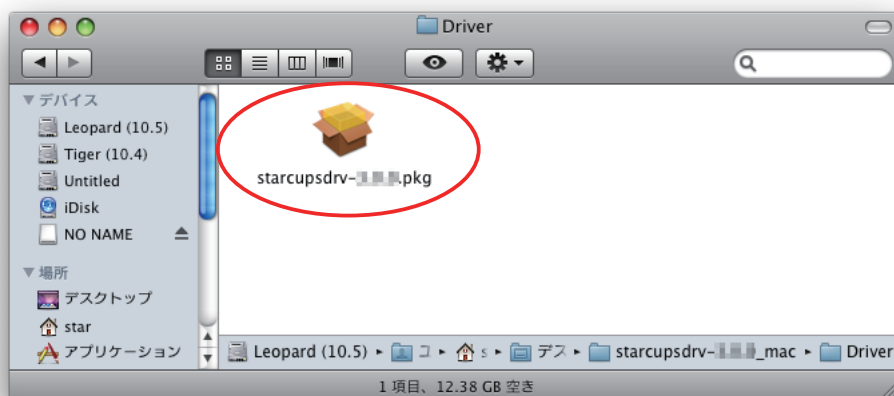
- ① "starcupsdrv-x.xx.x_mac_yyyymmdd.zip" をデスクトップに配置し、ダブルクリックして解凍します。



- ② 解凍した <starcupsdrv-x.xx.x_mac> をダブルクリックしますと、以下の画面が表示されます。「Driver」フォルダを開きます。



- ③ 以下の画面が表示されます。
[starcupsdrv-x.xx.x.pkg] をダブルクリックしてインストールを開始します。



- ④ 以下の画面が表示されます。
[続ける] をクリックします。



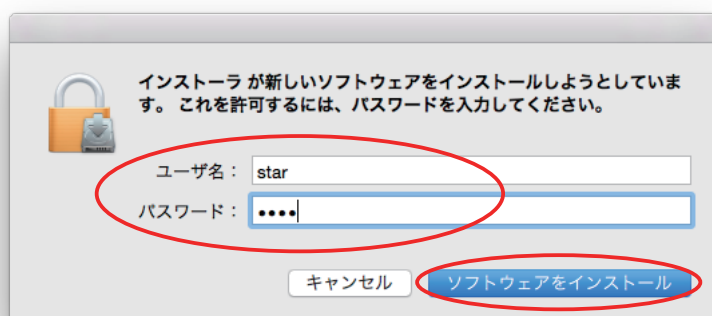
- ⑤ インストール先のハードディスクを選択し、[続ける]をクリックします。



- ⑥ [インストール]をクリックして、インストールを開始します。



- ⑦ 以下の認証画面が表示された場合は、管理者権限を持つユーザ名とパスワードを入力し、[ソフトウェアをインストール]をクリックします。

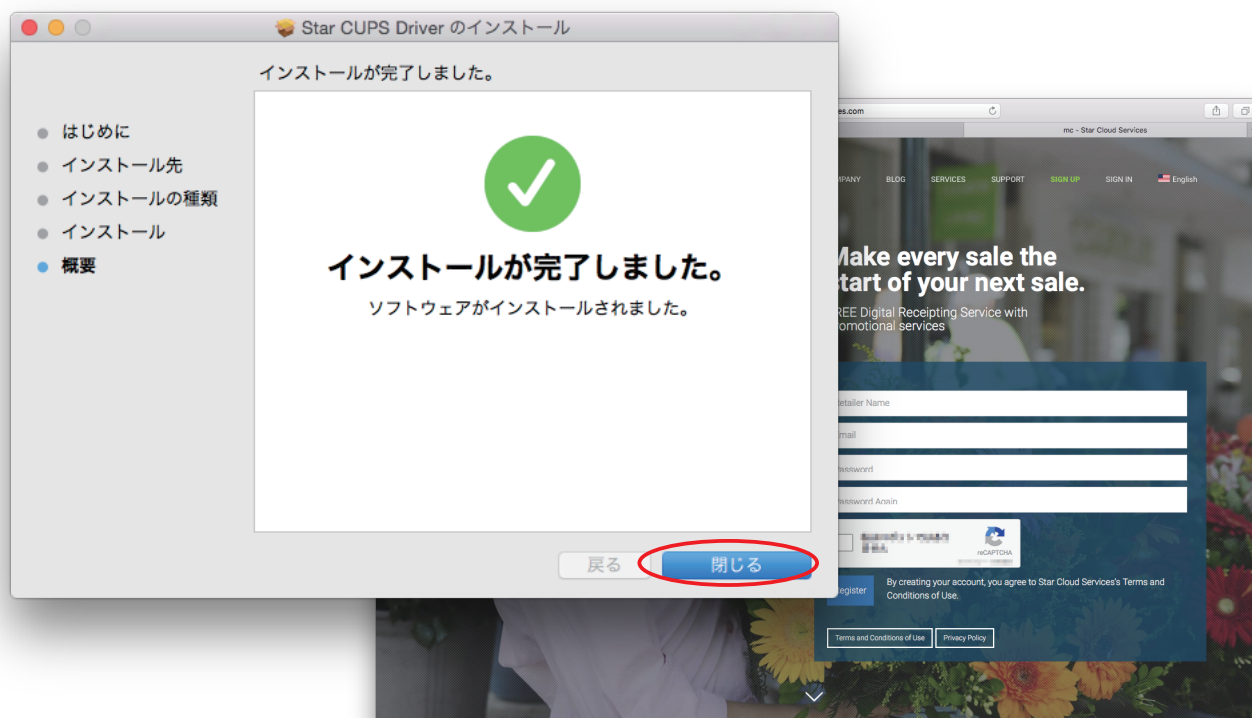


注記： 管理者権限を持たないユーザの場合、
管理者の名前とパスワードの入力を求められます。

- ⑧ インストールが正常に行われると、インストール完了画面が表示されます。

また、スター精密クラウドサービスの Web ページが開きます。こちらからスター精密クラウドサービスアカウントを登録すると、スター精密クラウドサービスをご利用いただけるようになります。詳しくは Web ページをご参照ください。

[閉じる]をクリックして、インストールを終了します。



1.2 プリンタの登録

プリンタの登録はご使用のインターフェイスによって手順が異なりますので、ご使用の環境に合った項をご参照ください。

1.2.1 USB インターフェイスをご使用の場合

- ① メニューバーの Apple マークより [システム環境設定...] を開き、[プリントとファクス] のアイコンをダブルクリックします。



- ② プリンタを PC に接続して、プリンタの電源を投入します。
"プラグアンドプレイ" によって、自動的にプリンタが登録されます。
- ③ プリンター一覧に対象となるプリンタが追加されていれば、プリンタの追加は正しく完了しています。



1.2.2 イーサネットインターフェイスをご使用の場合

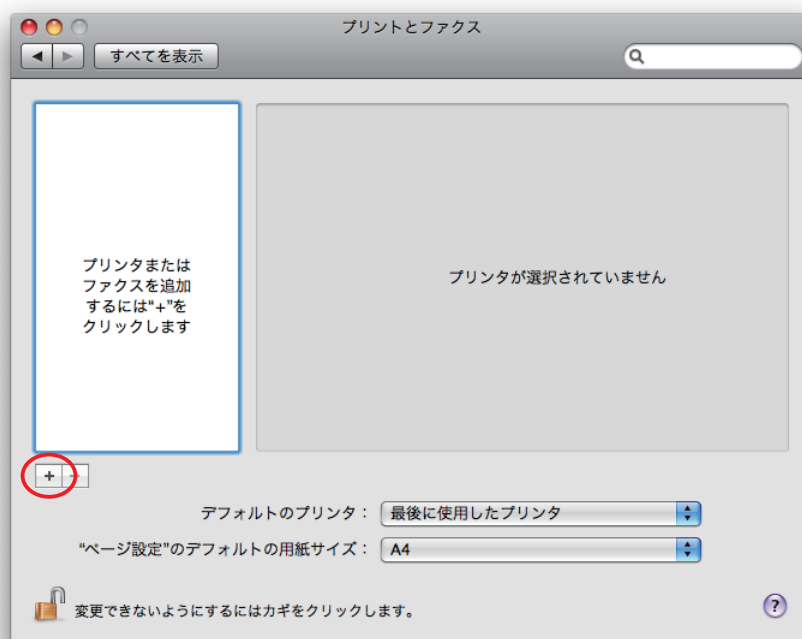
注記：IFBD-HI01X をご使用の場合、WebUI にて LPR を 'Enable' に設定してご使用ください。

詳しくは "Set-up Manual for IFBD-HI01X" をご参照ください。

- ① メニューバーの Apple マークより、[システム環境設定 ...] を開き、[プリントとファクス] のアイコンをクリックします。



- ② プリントとファクスウィンドウが表示されます。
[+] をクリックします。

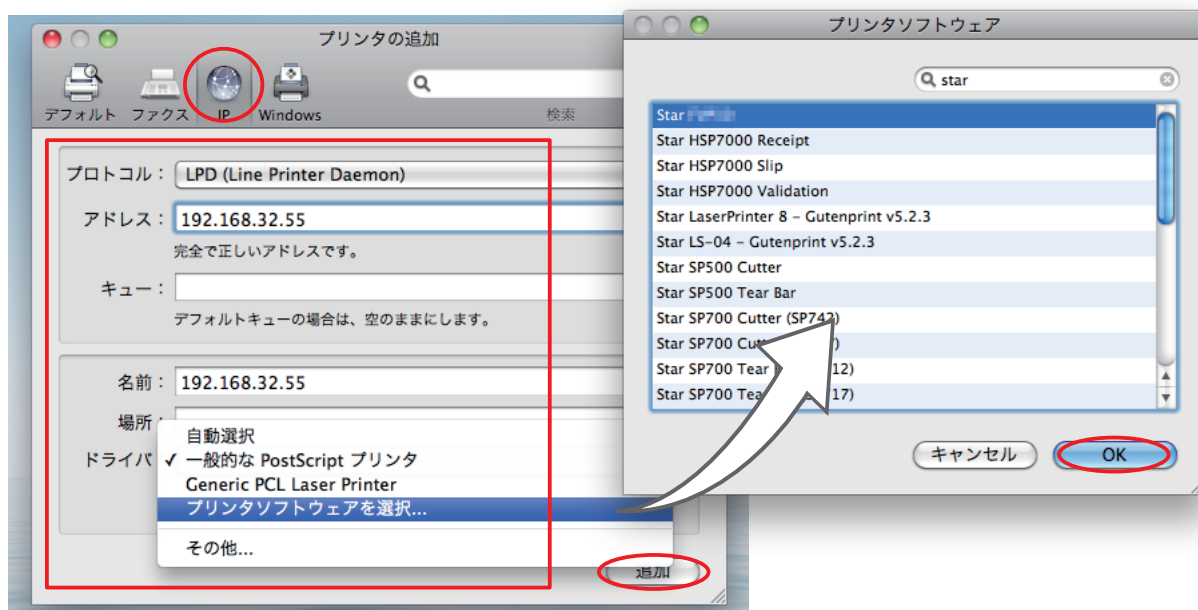


③ 「IP」 から以下の設定を行い、[追加] をクリックします。

プロトコル : 「LPD(Line Printer Daemon)」
 アドレス : 設定するプリンタの IP アドレス (自己印字にて確認)
 キュー : 任意の文字列 (空のままでは使用できません)
 名前 : 任意の文字列 (デフォルトで IP アドレスが自動的に入力されます。)
 ドライバ : 「使用するドライバを選択 ...」、または「プリンタソフトウェアを選択」
 使用するドライバを選択

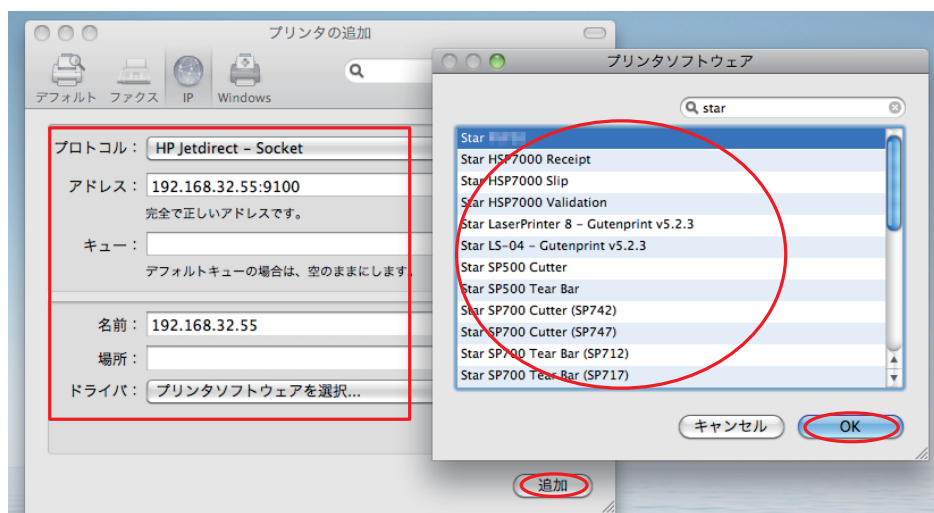
Point! 以下モデルに対応するドライバは以下の通りです。

TSP654II	Star TSP650 Cutter
TSP143IIIU TSP100IIIW / LAN / BI / U	Star TSP100 Cutter(en)



memo 9100 番ポートを使用する場合は、以下の内容で設定を行います。

プロトコル : 「HP JetDirect - Socket」
 アドレス : [設定するプリンタの IP アドレス] : 9100
 名前 : 任意の文字列 (デフォルトで IP アドレスが自動的に入力されます)
 ドライバ : 「使用するドライバを選択 ...」、または「プリンタソフトウェアを選択」
 使用するドライバを選択




- ④ プリンター一覧に指定した名前のプリンタが追加されていれば、プリンタの追加は完了しています。



1.2.3 Bluetooth インターフェイスをご使用の場合

① 以下の手順で Bluetooth プリンターとペアリングを行ってください。

1. プリンターの電源を ON してください。
2. プリンターの Bluetooth カードの PAIR ボタンを 10 秒以上押し続け、プリンターをペアリングモードにしてください。(TSP100IIIIBI 以外)
3. システム環境設定より [Bluetooth ] をクリックし [新しいデバイスの設定] をクリックしてください。プリンターの検索を開始します。
4. 検索画面よりペアリングを行うプリンターを選択し、[続ける] をクリックしてください。ペアリングされます。ペアリングが成功しない場合は、再度ペアリングを行ってください。

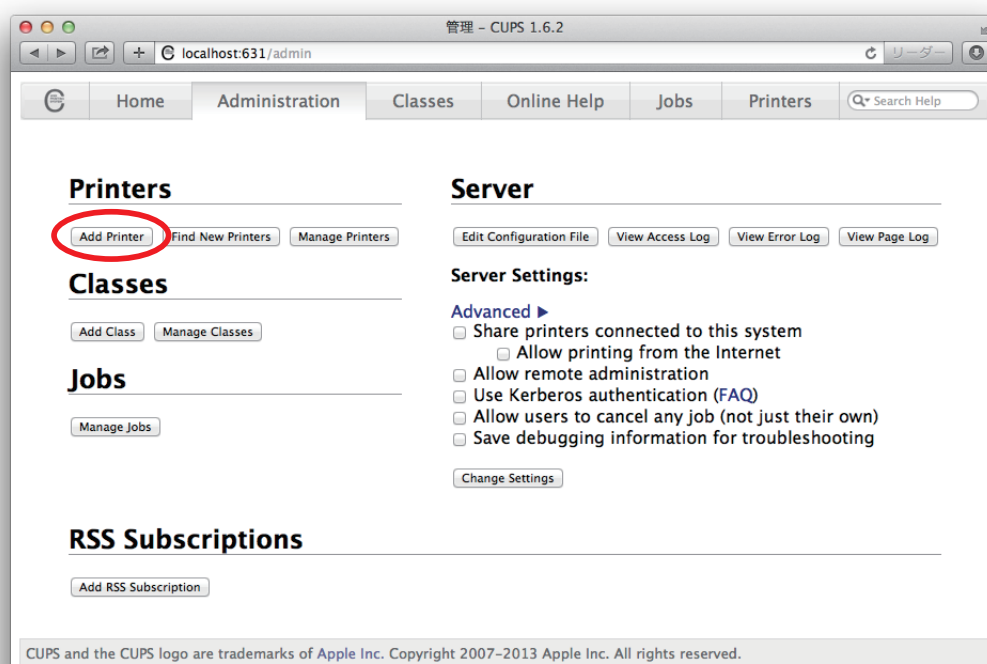
② Web ブラウザで CUPS 管理画面 (<http://localhost:631/admin>) にアクセスします。

Point! 初めて CUPS 管理画面にアクセスする場合、Web インターフェイスが無効となっているため、CUPS 管理画面へのアクセスが行えません。
有効にするには、[ユーティリティ]-[ターミナル] より以下のコマンドを実行してください。

cupscctl WebInterface=yes

③ [Add Printer] をクリックします。

注記: 認証を求めるダイアログが表示された場合は、root のパスワードを入力し [はい] を押してください。



- ④ 「LPD/LPR ホストまたはプリンタ」を選択し、[Continue] をクリックします。



- ⑤ Connection にプリンターデバイスの URI (以下) を指定して、[Continue] をクリックします。

starbluetooth://<<Bluetooth Address>>

例) starbluetooth://00-12-f3-1c-2f-a4



Point! Bluetooth Address は、プリンターの自己印字（Feed ボタンを押しながら電源 ON）で印字される Bluetooth Information に記載されています。

- ⑥ Name (プリンター名)、Description (説明)、Location (場所) の項目を入力して、[Continue] をクリックします。

Description と Location の項目は未入力でも構いません。

- ⑦ Make (プリンターメーカーリスト) より "Star" を選択し、[Continue] をクリックします。

- ⑧ Model よりプリンターのモデルを選択して [Add Printer] をクリックします。



Point!

以下モデルに対応するドライバは以下の通りです。

TSP654II	Star TSP650 Cutter
TSP143IIU TSP100IIIW / LAN / BI / U	Star TSP100 Cutter(en)

以上で Bluetooth プリンターの登録が完了しました。

1.3 Star Printer Drivers のアンインストール

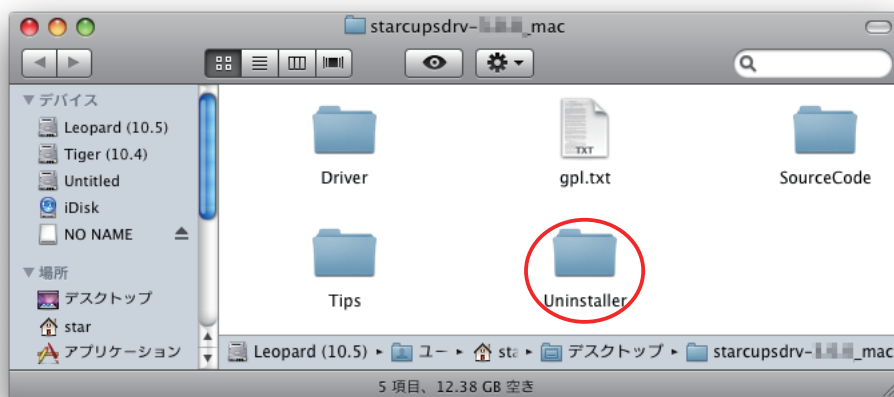
以下の手順に従って、ドライバのアンインストールを行ってください。

注記： Star Printer Driver のアンインストールを行うと、Mac 内にインストールされた Star プリンタ全機種のドライバの削除を行います。
また、同時にインストールされた Star Cloud Services アプリケーションの設定ファイルも削除されます。

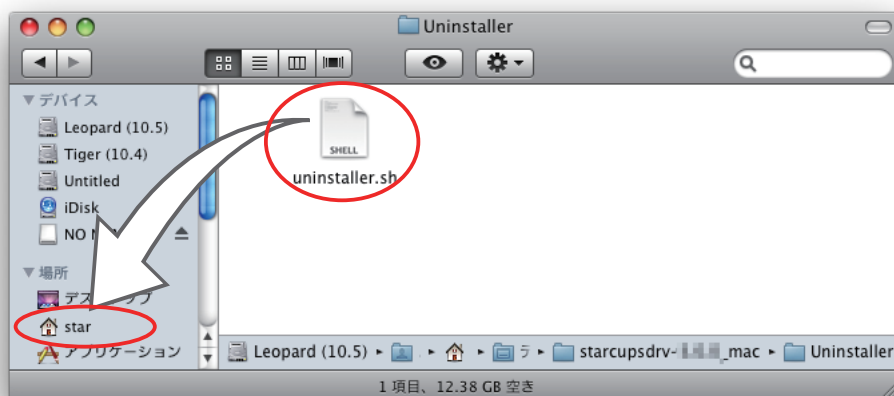
- ① プリンタの電源スイッチを OFF にして電源を切ります。
- ② "starcupsdrv-x.xx.x_mac_yyyymmdd.zip" をデスクトップに配置し、ダブルクリックして解凍します。



- ③ 解凍した <starcupsdrv-x.xx.x_mac> をダブルクリックしますと、以下の画面が表示されます。
「Uninstaller」フォルダを開きます。



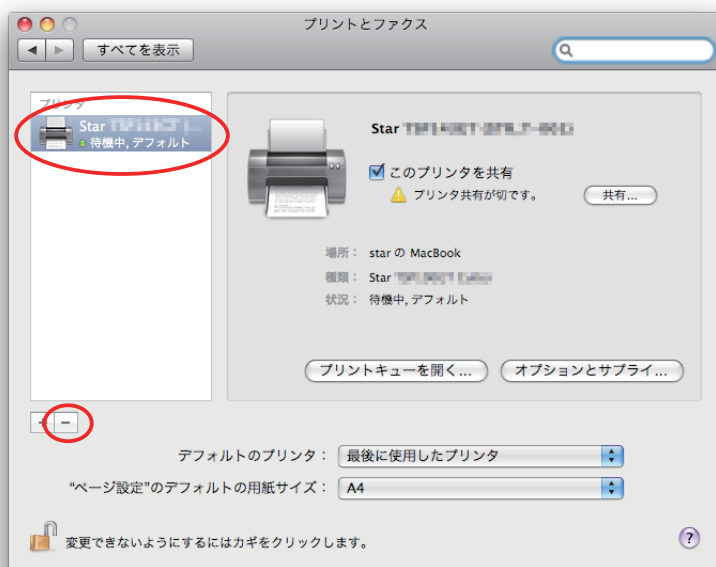
- ④ "uninstaller.sh" をホームディレクトリにコピーします。



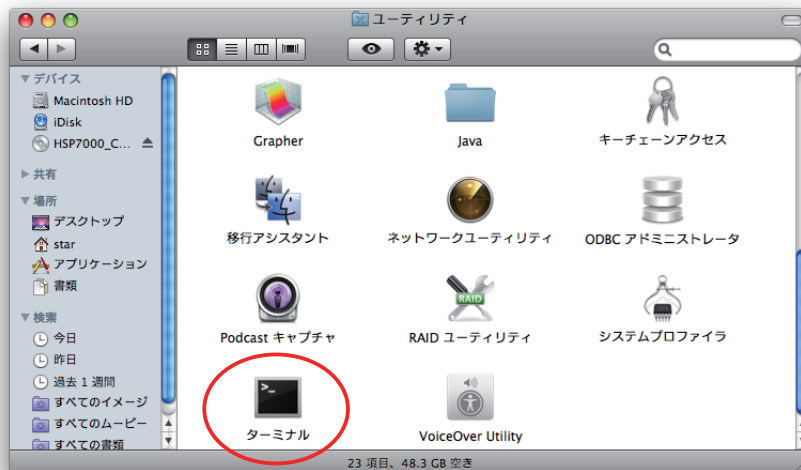
- ⑤ [システム環境設定...] より、[プリントとファクス]を開きます。



- ⑥ プリンター一覧より、全ての Star プリンタのキューを削除します。

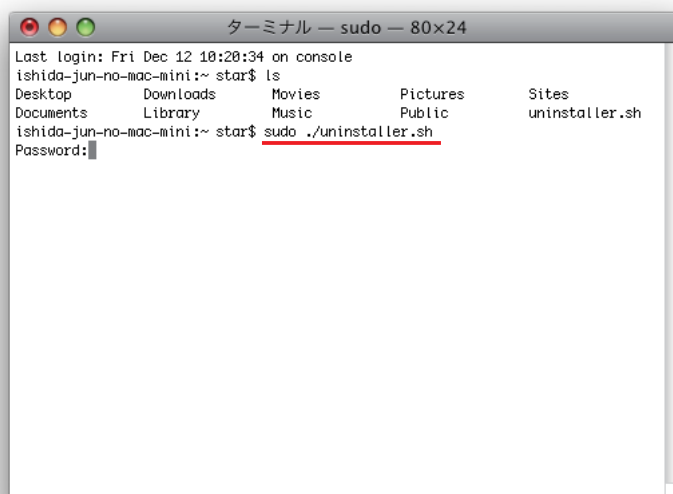


- ⑦ [アプリケーション]-[ユーティリティ]より「ターミナル」を開きます。



- ⑧ ターミナルで以下のコマンドを実行することにより、Star Printer Driver のアンインストールを実行します。起動時にはユーザパスワードの入力を求められます。

sudo ./uninstaller.sh



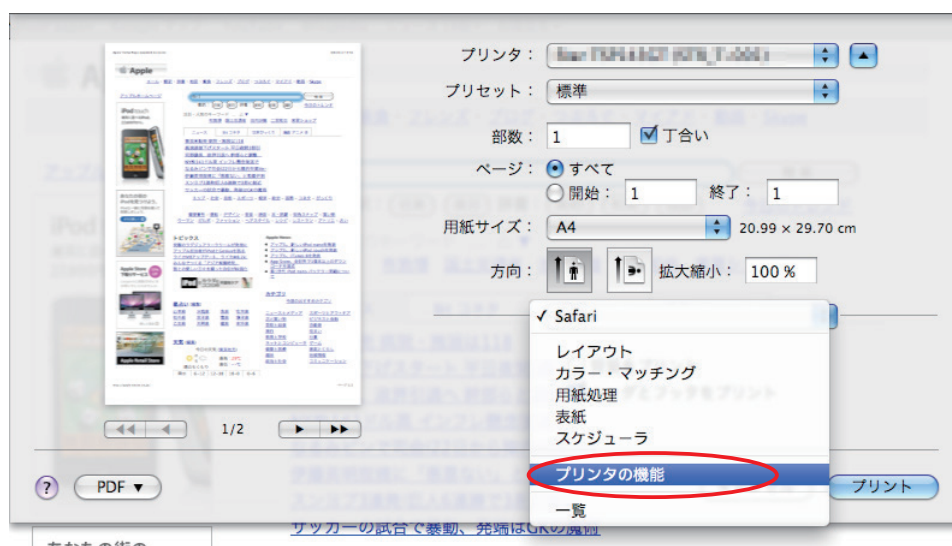
2. プリント機能の設定

プリンタ機能の設定は、『Mac OS X』のメニューバーから各アプリケーションの[ファイル]-[プリント]で開いたダイアログボックスで行います。

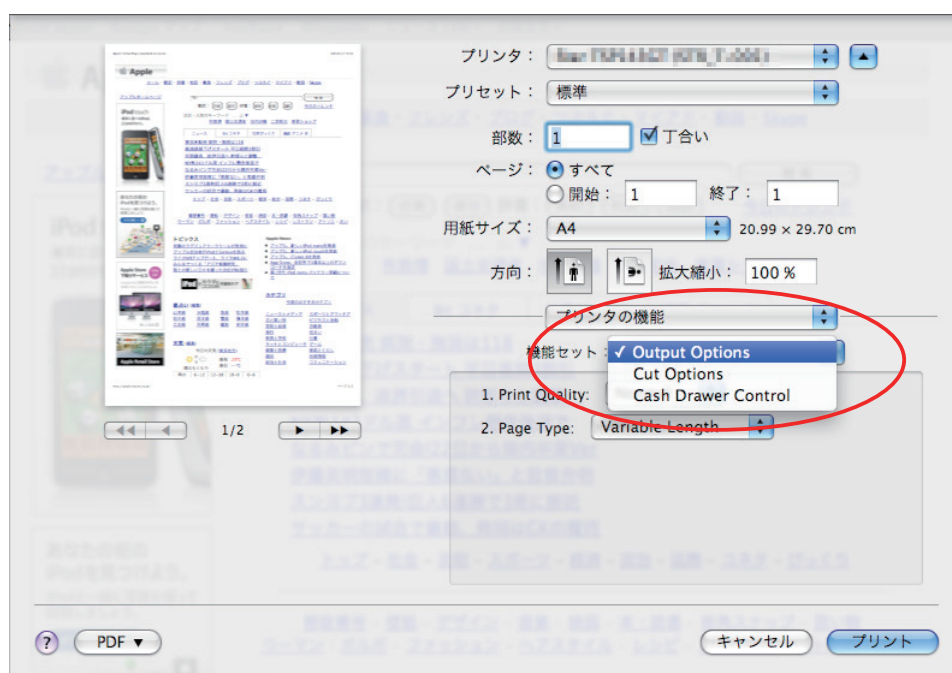
「プリンタ：」のプルダウンメニューから、設定を行うプリンタ名を選択し、[▼]をクリックして詳細を表示します。



設定のプルダウンメニューから「プリンタの機能」を選択します。



「機能セット：」のプルダウンメニューから、設定を行う機能を選択します。



2.1 機能一覧

選択するプリンタによって表示される機能は異なり、表示される機能のみ設定することができます。
該当する機能説明をご参照ください。

■ Output Options

• Print Speed : (印字速度)

印字速度を設定します。印字速度の設定によって印字品質も変わります。

設定値	初期値	詳 細
High	○	印字品質よりも印字速度を優先します。
Middle		印字品質も印字速度も中間的な設定です。
Low		最高の印字品質を得られますが、印字速度は遅くなります。

• Print Density : (印字濃度の設定)

印字濃度を設定します。

設定値	初期値	詳 細
-3 ~ -1		- (マイナス) の数値が大きいほど印字が薄くなります。
Standard	○	通常の濃度で印字します。
+1 ~ +3		+ (プラス) の数値が大きいほど印字が濃くなります。

Point! TSP650・TSP650II・mPOP シリーズのみ対応

• Page Type : (ページタイプの設定)

ページタイプを設定します。

設定値	初期値	詳 細
Variable Length	○	可変長制御：ページ終端までの余白データは出力しません。 最後のデータが印刷された後にレシートが終了します。
Fixed Length		固定長制御：ページ終端までの余白データを余白として出力します。 用紙サイズで指定した長さの印字後にレシートが終了します。

• Top Search : (頭出し機能の設定)

印刷前に行なう用紙の逆送り動作を設定します。

設定値	初期値	詳 細
Disable	○	印刷前の用紙の逆送り動作を行いません。
Enable		印刷前に用紙を逆送りして上余白を小さくします。

Point! TSP700II シリーズ・TSP800II シリーズ・TSP1000 のみ対応

注記：「Page Cut Type」または「Document Cut Type」が「Full Cut」に設定されている場合のみ有効です。「Partial Cut」の設定では使用できません。

■ Cut Options (Cutter モデル)

• Page Cut Type: (ページカット動作の設定)

最後のページを除いた全てのページの終わりに実行されるカット動作を設定します。

設定値	初期値	詳 細
No Cut	○	カットおよび用紙送りの動作を行いません。
Partial Cut		カット位置まで用紙を送った後、中央を1点残しカットします。
Full Cut ※		カット位置まで用紙を送った後、フルカットします。

※ モデルによっては対応していません。

• Document Cut Type: (文書カット動作の設定)

最後のページに実行されるカット動作を設定します。

設定値	初期値	詳 細
No Cut		カットおよび用紙送りの動作を行いません。
Partial Cut	○※2	カット位置まで用紙を送った後、中央を1点残しカットします。
Full Cut ※1		カット位置まで用紙を送った後、フルカットします。
Tear Bar		Tear Bar (カット位置) まで用紙を送ります。

※1 モデルによっては対応していません。

※2 TSP1000 の初期値は "Full Cut" です。

■ Feed Options (TearBar モデル)

• Page Feed Type: (ページ用紙送り動作の設定)

最後のページを除いた全てのページの終わりに実行される用紙送り動作を設定します。

設定値	初期値	詳 細
No Feed	○	用紙送りの動作を行いません。
Tear Bar		Tear Bar (カット位置) まで用紙を送ります。

• Document Feed Type: (文書ページ送り動作の設定)

最後のページに実行される用紙送り動作を設定します。

設定値	初期値	詳 細
No Feed		用紙送りの動作を行いません。
Tear Bar	○	Tear Bar (カット位置) まで用紙を送ります。

■ Data Treatment Recover From Error

- **Data Treatment Recover From Error :** (エラー復帰時のデータの扱い設定)

エラー発生時の、送信済みの印字データを処理する方法を設定します。

設定値	初期値	詳 細
No Use		エラー復帰後に残りのデータを続けて印刷します。
Clear Data By Document Unit	○	エラー復帰後に残りのデータをクリアします。

Point! TSP650・TSP650II・TSP700II・TSP800II・mPOP シリーズのみ対応

注記 (TSP650・TSP700II のみ) :

この機能は古い F/W (ファームウェア) では正常に動作しません。Ver3.0 以前の F/W をご使用の場合は、'No Use' を選択してください。

F/W のバージョンはプリンタを自己印字することでご確認いただけます。また、F/W のバージョンアップについては、ご購入先にお問い合わせください。

■ Cash Drawer Control

- **Cash Drawer :** (キャッシュドロワの動作設定)

キャッシュドロワの動作を設定します。

設定値	初期値	詳 細
Do Not Open Drawers	○	キャッシュドロワを駆動しません。
Open Drawer 1		キャッシュドロワ 1 を印刷直後に駆動します。
Open Drawer 2		キャッシュドロワ 2 を印刷直後に駆動します。
Open Drawer 1 and 2		キャッシュドロワ 1 と 2 を印刷直後に駆動します。

- **Cash Drawer 1 Pulse Width :** (パルス幅の設定)

キャッシュドロワのパルス幅を設定します。

設定値	初期値	詳 細
10 milliseconds		パルス幅を 0.01 秒に設定します。
100 milliseconds		パルス幅を 0.1 秒に設定します。
200 milliseconds	○	パルス幅を 0.2 秒に設定します。
300 milliseconds		パルス幅を 0.3 秒に設定します。
400 milliseconds		パルス幅を 0.4 秒に設定します。
500 milliseconds		パルス幅を 0.5 秒に設定します。
600 milliseconds		パルス幅を 0.6 秒に設定します。
700 milliseconds		パルス幅を 0.7 秒に設定します。
800 milliseconds		パルス幅を 0.8 秒に設定します。
900 milliseconds		パルス幅を 0.9 秒に設定します。
1000 milliseconds		パルス幅を 1.0 秒に設定します。
1100 milliseconds		パルス幅を 1.1 秒に設定します。
1200 milliseconds		パルス幅を 1.2 秒に設定します。

注記 : 1) キャッシュドロワとブザーの設定は同時に有効にしないでください。

2) キャッシュドロワ 2 は、パルス幅が 200 milliseconds で固定ですので変更できません。

■ Buzzer 1 Control および Buzzer 2 Control

- **Buzzer 1 (Buzzer 2) :** (ブザー 1 (またはブザー 2) の動作設定)

ブザー 1 (またはブザー 2) の動作を設定します。

設定値	初期値	詳 細
No Use	○	ブザー 1 (またはブザー 2) を駆動しません。
Document Top		ブザー 1 (またはブザー 2) は文書の先頭で動作を実行します。
Document Bottom		ブザー 1 (またはブザー 2) は文書の終端で動作を実行します。

注意：外部機器にブザー以外の機器（キャッシュドロワ等）を使用する場合には、'No Use' を選択してください。間違った設定を行った場合、外部機器本体が破壊する恐れがあります。

- **Buzzer 1 (Buzzer 2) - On Time :** (ブザー 1 (またはブザー 2) の鳴動時間)

ブザー 1 (またはブザー 2) の鳴動時間を設定します。

設定値	初期値	詳 細
20 milliseconds	○	0.02 秒に設定します。
40 milliseconds		0.04 秒に設定します。
100 milliseconds		0.1 秒に設定します。
200 milliseconds		0.2 秒に設定します。
500 milliseconds		0.5 秒に設定します。
1000 milliseconds		1.0 秒に設定します。
2000 milliseconds		2.0 秒に設定します。
5000 milliseconds		5.0 秒に設定します。

- **Buzzer 1 (Buzzer 2) - Off Time :** (ブザー 1 (またはブザー 2) の休止時間)

ブザー 1 (またはブザー 2) の休止時間を設定します。

設定値	初期値	詳 細
20 milliseconds	○	0.02 秒に設定します。
40 milliseconds		0.04 秒に設定します。
100 milliseconds		0.1 秒に設定します。
200 milliseconds		0.2 秒に設定します。
500 milliseconds		0.5 秒に設定します。
1000 milliseconds		1.0 秒に設定します。
2000 milliseconds		2.0 秒に設定します。
5000 milliseconds		5.0 秒に設定します。

• **Buzzer 1 (Buzzer 2) - Repeat:** (ブザー 1 (またはブザー 2) の鳴動回数)

ブザー 1 (またはブザー 2) を設定した鳴動時間・休止時間で繰り返して駆動する回数を設定します。
設定した鳴動回数に関わらず、“FEED” ボタンを押すことでブザーは止まります。

設定値	初期値	詳 細
1	○	ブザー 1 (またはブザー 2) を 1 回鳴らします。
2		ブザー 1 (またはブザー 2) を 2 回鳴らします。
3		ブザー 1 (またはブザー 2) を 3 回鳴らします。
5		ブザー 1 (またはブザー 2) を 5 回鳴らします。
10		ブザー 1 (またはブザー 2) を 10 回鳴らします。
15		ブザー 1 (またはブザー 2) を 15 回鳴らします。
20		ブザー 1 (またはブザー 2) を 20 回鳴らします。

注記: 1) キャッシュドロウとブザーの設定は同時に有効にしないでください。
2) ブザーの鳴動および休止時間がトータルして 90 秒を超えないようにしてください。

■ Peripheral Control (TSP1000)

1. Peripheral: (外部機器の動作設定)

外部機器の動作を設定します。

設定値	初期値	詳 細
Do Not Activate	○	外部機器を駆動しません。
Activate		外部機器を駆動します。

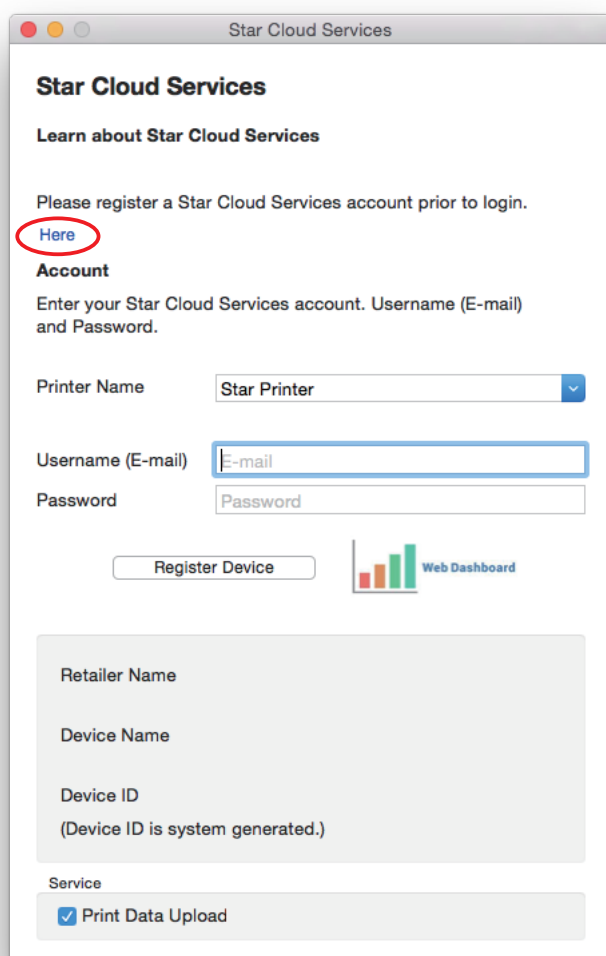
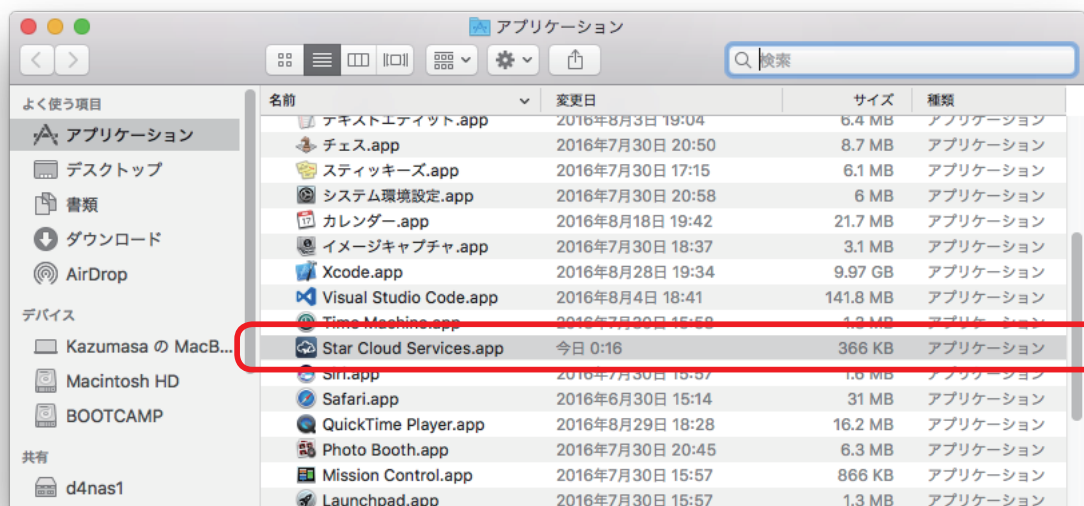
2. Peripheral Activation Pulse Width: (パルス幅の設定)

外部機器のパルス幅を設定します。

設定値	初期値	詳 細
20 milliseconds		パルス幅を 0.02 秒に設定します。
100 milliseconds		パルス幅を 0.1 秒に設定します。
200 milliseconds	○	パルス幅を 0.2 秒に設定します。
300 milliseconds		パルス幅を 0.3 秒に設定します。
400 milliseconds		パルス幅を 0.4 秒に設定します。
500 milliseconds		パルス幅を 0.5 秒に設定します。
600 milliseconds		パルス幅を 0.6 秒に設定します。
700 milliseconds		パルス幅を 0.7 秒に設定します。
800 milliseconds		パルス幅を 0.8 秒に設定します。
900 milliseconds		パルス幅を 0.9 秒に設定します。
1000 milliseconds		パルス幅を 1.0 秒に設定します。
1100 milliseconds		パルス幅を 1.1 秒に設定します。
1200 milliseconds		パルス幅を 1.2 秒に設定します。

2.2 スター精密クラウドサービス

本ドライバのインストールにより、同時に Star Cloud Services アプリケーションがインストールされます。
[アプリケーション] より [Star Cloud Services.app] を起動してください。



スター精密クラウドサービスをご利用いただくには、事前にスター精密クラウドサービスのアカウントの登録が必要です。

詳しくは「Here」より表示される Web ページの内容をご確認ください。

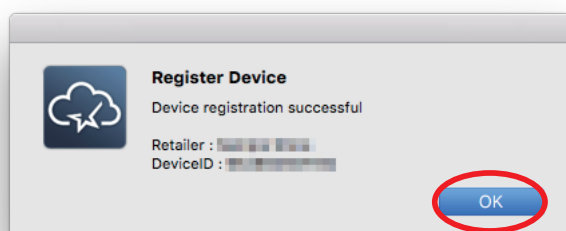
2.2.1 デバイス（プリンターキュー）の登録

あらかじめご登録いただいたスター精密クラウドサービスのアカウントでデバイス（スタープリンターのプリンターキュー）を登録します。

デバイスの登録をすると、スター精密クラウドサーバーへの印刷データアップロードのサービスが利用可能となります。また、スター精密クラウドサービスのダッシュボードから、登録したデバイスの管理が可能となります。

1. 登録を行うデバイス（プリンターキュー）を選択します①。
2. あらかじめご登録いただいた、スター精密クラウドサービスアカウントのユーザー名 (E-mail) とパスワードを入力して②、[Register Device] をクリックします③。

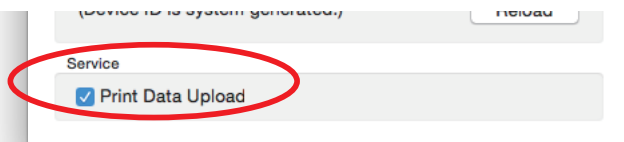
3. デバイスの登録が成功すると、以下のダイアログが表示されますので [OK] をクリックします。



4. 接続したスター精密クラウドサービスのアカウント情報が表示されます。
「Web Dashboard」で表示される Web ページより、設定したアカウントでダッシュボードに接続し、デバイス名等を変更することができます①。Web ページで変更を行った場合は [Reload] をクリックすると表示しているデバイス情報を更新します②。

2.2.2 サービス利用の設定

「Print Data Upload」にチェックすると、レシート印刷時に QR コードの付加を行い、同時に印刷したデータをスター精密クラウドサーバーにアップロードします。



出力サンプル)

ORE # A47
05/13/05
5:03 PM

103050	QTY
660463 Cell Phone	1 80.2
1324370 Portable Phone	1 51.42
3364111 Answ.	2 651.4
8845321 Machine	1 113.32
1410053 Italian Tile	10 572.93
680472 Gas Grille	1
1840137 Hammock	1 132.5
5541704 sec.Syst.	2 840.12
7241124 Comp.Wire	8 283.3
Subtotal 2725.19	
Tax 6% 163.51	
Total 2888.70	

AllReceipts

COLLECT & STORE YOUR RECEIPTS DIGITALLY

Download the AllReceipts APP from www.SMCS.IO

NO EMAIL REQUIRED

or SCAN the QR code below

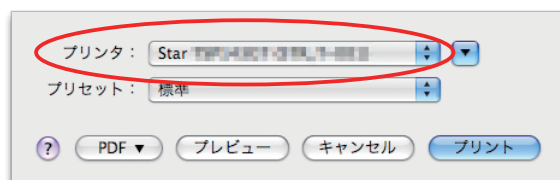
注記： スター精密クラウドサーバーへのデータアップロードには、ネットワークに接続されていることが必要となります。ネットワーク接続の状況により、QR コードの付加印刷がされているのにスター精密クラウドサーバーへデータがアップロードされていないことがあります。あらかじめご承知おきください。

3. 用紙サイズの設定

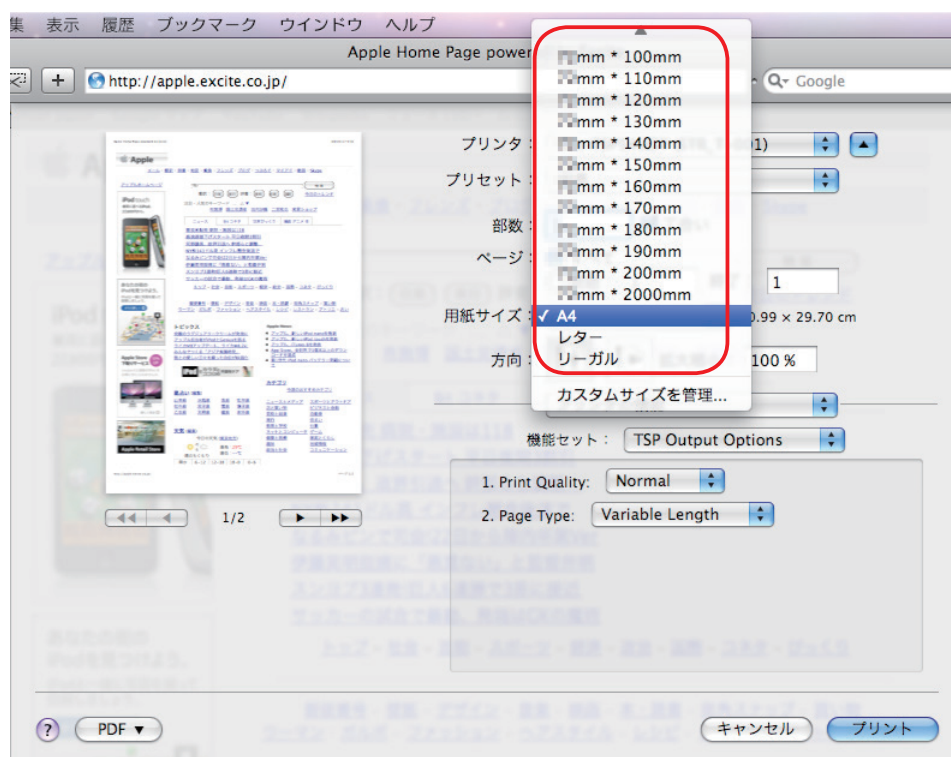
3.1 用紙サイズの設定

Mac OS X のメニューバーから [ファイル]-[プリント] を開きます。

「プリンタ：」のプルダウンメニューから設定を行うプリンタ名を選択します。
詳細が表示されていない場合は、[▼] をクリックして詳細を表示します。



「用紙サイズ：」のプルダウンメニューから使用する用紙サイズを設定します。
使用可能な用紙サイズは「3.2 設定可能用紙サイズ」をご参照ください。



Point! 最大印字幅を超える用紙サイズを選択した場合は、最大印字幅に合わせて縮小し、印字します。

Bluetooth モデル 制限事項：

Bluetooth プリンターで印刷可能なページ長は 1500mm 以内となりますので、1500mm 以内の用紙サイズを設定してください。

3.2 設定可能用紙サイズ

以下の用紙サイズがあらかじめ用意されており、設定が可能です。

用紙サイズ	対応機種						用紙サイズ	対応機種 mPOP
	TSP100 シリーズ (TSP100IIIW/LAN/BI/U, TSP100IU, TSP113U, TSP143U, TSP113GT, TSP143GT, TSP113LAN, TSP143LAN)	TSP 651/654	TSP 654II	TSP 700II	TSP 800II	TSP 1000		
50.8 * 30mm	○	○	○	○			48 * 100mm	○
50.8 * 40mm	○	○	○	○			48 * 200mm	●
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮			48 * 1500mm	○
50.8 * 190mm	○	○	○	○			50.8 * 100mm	○
50.8 * 200mm	○	○	○	○			50.8 * 200mm	○
50.8 * 1500mm			○	○			50.8 * 1500mm	○
50.8 * 2000mm	○	○	○	○			54 * 100mm	○
52 * 30mm				○			54 * 200mm	○
52 * 40mm				○			54 * 1500mm	○
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮			A4	○
52 * 190mm				○			Letter	○
52 * 200mm				○			Legal	○
52 * 1500mm				○				
52 * 2000mm				○				
52.5 * 30mm				○				
52.5 * 40mm				○				
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮				
52.5 * 190mm				○				
52.5 * 200mm				○				
52.5 * 1500mm				○				
52.5 * 2000mm				○				
72 * 30mm	○	○	○	○		○		
72 * 40mm	○	○	○	○		○		
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮		⋮		
72 * 190mm	○	○	○	○		○		
72 * 200mm	●	●	●	○		○		
72 * 1500mm			○	○		○		
72 * 2000mm	○	○	○	○		○		
80 * 30mm				○		○		
80 * 40mm				○		○		
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮		⋮		
80 * 190mm				○		○		
80 * 200mm				●		●		
80 * 1500mm				○				
80 * 2000mm				○		○		
104 * 30mm					○			
104 * 40mm					○			
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮		
104 * 190mm					○			
104 * 200mm					●			
104 * 1500mm					○			
104 * 2000mm					○			
A4	○	○	○	○	○	○		
Letter	○	○	○	○	○	○		
Legal	○	○	○	○	○	○		

※ ●はデフォルト設定値です。

使用するアプリケーションによっては機能しない場合があります。

4. イーサネット環境を使用する際のガイドライン

このドライバを使用して、LAN 対応のプリンタをご使用いただくには、あらかじめプリンタへの IP アドレスの設定が必要となります。ご使用の LAN 環境において、DHCP サーバーからの IP アドレスの取得が行えない場合には、事前にプリンタへの IP アドレスの設定を行ってください。

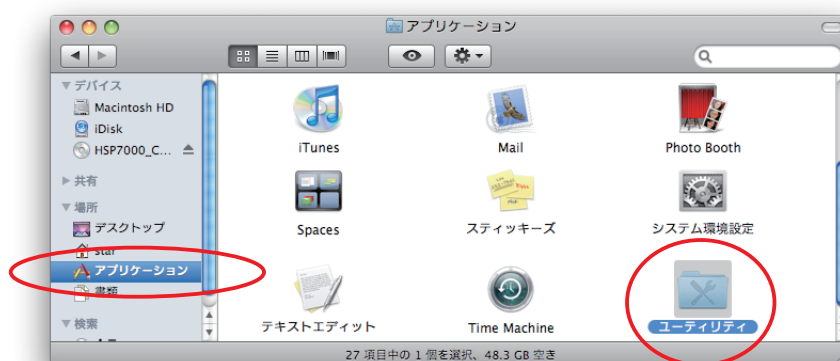
4.1 仮 IP アドレス設定

以下の手順で、プリンタに対して、仮 IP アドレスを設定することができます。仮 IP アドレスを設定することにより、IP アドレスの設定されていないプリンタへの接続が行えるようになります。

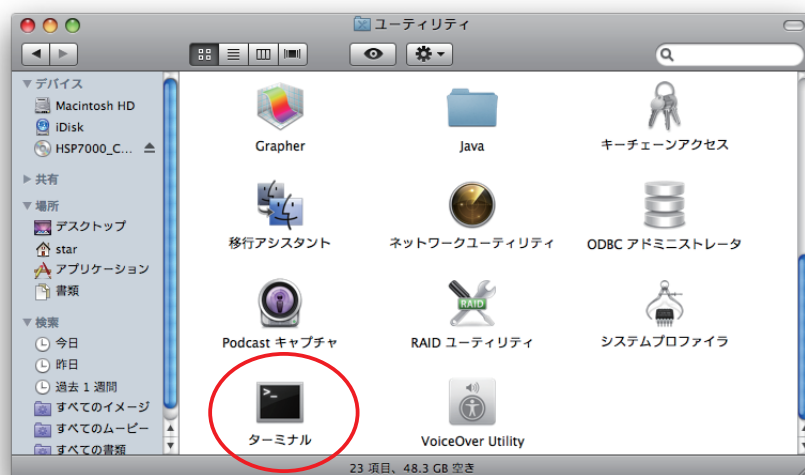
注記：プリンタの設定は管理者権限を持つユーザで行ってください。

Point! 仮 IP アドレスの設定には、設定を行うプリンタの MAC アドレスが必要です。MAC アドレスはプリンタを自己印字させることで確認することができます。自己印字に関して詳しくは別冊のハードウェアマニュアルをご参照ください。

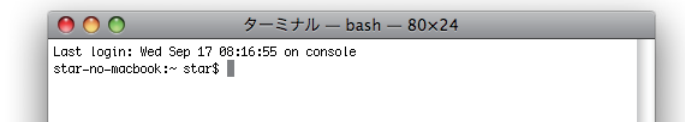
- ① プリンタにイーサネットケーブルを接続して、プリンタの電源を投入します。
- ② 『Mac OS X』の Dock から「Finder」を起動して、[アプリケーション]-[ユーティリティ]をクリックします。



- ③ [ターミナル]をクリックします。



- ④ ターミナルが起動します。



ターミナルで以下のコマンドを実行することにより、
プリンタの MAC アドレスに仮 IP アドレスを設定してください。

1. `sudo arp -d [プリンタ仮 IP アドレス]`
2. `sudo arp -s [プリンタ仮 IP アドレス] [プリンタ MAC アドレス]`
3. `ping -c 4 [プリンタ仮 IP アドレス]`
4. `sudo arp -d [プリンタ仮 IP アドレス]`

具体例：MAC アドレス <00:11:62:00:03:4D> のプリンタに
仮 IP アドレス <192.168.222.217> を設定する場合

```
sudo arp -d 192.168.222.217
sudo arp -s 192.168.222.217 00:11:62:00:03:4D
ping -c 4 192.168.222.217
sudo arp -d 192.168.222.217
```

注記：ここで設定を行う “ 仮 IP アドレス ” は、プリンタの電源を切るとクリアされます。
ひきつづき IP アドレスの設定作業を行ってください。(4.2 ② から)

4.2 IP アドレス設定 << StarPrinter TELNET Utility >>

Telnet コマンドにより、直接プリンタに接続して設定を行います。

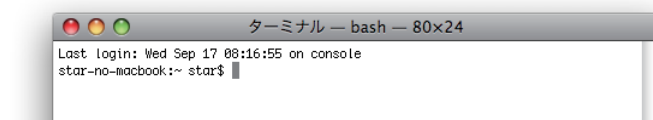
- ① プリンタにイーサネットケーブルを接続して、プリンタの電源を投入します。
- ② 『Mac OS X』の Dock から「Finder」を起動して、[アプリケーション]-[ユーティリティ]をクリックします。



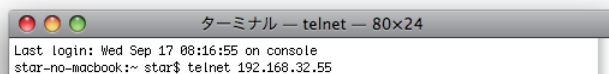
- ③ [ターミナル]をクリックします。



- ④ ターミナルが起動します。



- ⑤ Telnet コマンドにより、設定を行うプリンタに接続します。



例： > telnet 192.168.222.217

↓
設定を行うプリンタの IP アドレス（または仮 IP アドレス）

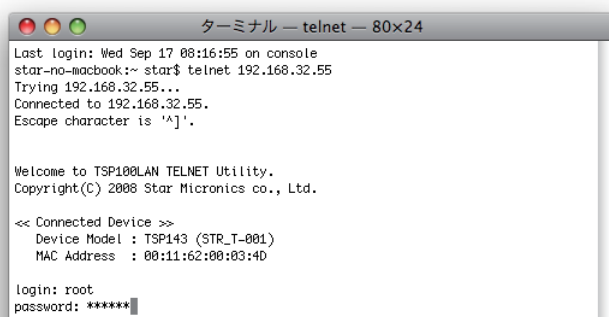
注記：IP アドレスが設定されていないプリンタには、接続が行えません。

「4.1 仮 IP アドレス設定」をご参照の上、あらかじめ仮 IP アドレスの設定を行ってください。

- ⑥ 設定を行うプリンタに "root" ユーザでログインします。

工場出荷時のパスワードは "public" です。

パスワードの変更を行った場合には、変更したパスワードを入力してください。

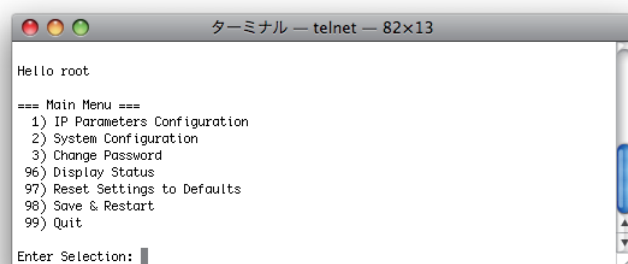


- ⑦ 表示されるのは以下のメニューです。

- 1) IP Parameters Configuration
- 2) System Configuration
- 3) Change Password
- 96) Display Status
- 97) Reset Settings to Defaults
- 98) Save & Restart
- 99) Quit

Enter Selection:

処理したい内容に合わせて番号を入力します。



- ⑧ すべての設定が終わったら "98(Save & Restart)" - "1(Save & Restart device & Configuration printing)" または "2(Save & Restart device)" で、設定内容の保存を行ってください。プリンタに設定内容を保存した後、プリンタのリセットがかかります。

具体例： 仮 IP アドレス <192.168.222.217> の設定されたプリンタに
固定 IP アドレス <192.168.222.55> を設定し、設定内容を印字して確認する場合

```
>telnet 192.168.222.217
login : root
password : ***** (変更していない場合 "public")
Enter Selection : 1 ( IP Parameters Configuration )
Enter selection : 1 ( Static )
Enter Selection : 1 ( IP Address )
Enter IP address (x.x.x.x) : 192.168.222.55
Enter Selection : 99 ( Back to IP Address Menu )
Enter Selection : 99 ( Back to Main Menu )
Enter Selection : 98 (Save & Restart )
Enter Selection : 1 (Save & Configuration printing & Restart device )
```

※ 実際の入力箇所を太字にて示しています。

5. lpr コマンドで使用する際のガイドライン

コマンドラインより lpr コマンドにて印刷を行う際には、以下のフォーマットにてオプションを指定することができます。

\$ lpr -o [option]=[value] -o [option]=[value] ... [Filename]

[option]・[value] には、「5.1 機能対応一覧」より " コマンド指定名称 " に示した名称にて指定します。
また、指定がないオプションについては、ドライバのデフォルト設定にて印刷を行います。

Point! オプション "-P" にてプリンタ名を指定する場合は、"lpstat -p" コマンドにて確認したプリンタ名を指定してください。

【使用例 1】

プリンタ名： TUP542__STR_T_001_
印刷ファイル： sample1.txt
用紙サイズ※： 50.8 * 200mm
余白（上）※： 0mm
余白（下）※： 0mm
余白（左）※： 0mm
余白（右）※： 0mm

※このオプションは、プリンタドライバオプションではなく、OS 標準のオプションです。

```
$ lpr -P TUP542__STR_T_001_ -o media="X50D8MMY200MM"
-o page-top=0 -o page-bottom=0 -o page-left=0
-o page-right=0 sample1.txt
```

【使用例 2】

印刷ファイル： sample2.txt
Print Speed： Low

```
$ lpr -o PrintSpeed=2Low sample2.txt
```

【使用例 3】

印刷ファイル： sample3.txt
Document Cut Type： No Cut

```
$ lpr -o DocCutType=0NoCutDoc sample3.txt
```

5.1 機能対応一覧

各機能の内容については「2.1 機能一覧」をご参照ください。

	機能名（ドライバ表示）		コマンド指定名称		対応機種							
	option	value	[option]	[value]	TSP 143 *	TSP 113 **	TSP 651	TSP 654/654II	TSP 700II	TSP 800II	TSP 1000	mPOP
Output Option	Print Speed	High	PrintSpeed	0High	●	●	●	●	●	●	●	●
		Middle		1Middle	○	○	○	○	○	○	○	
		Low		2Low	○	○	○	○	○	○	○	○
	Print Density	-3	PrintDensity	0Minus3			○	○				
		-2		1Minus2			○	○				
		-1		2Minus1			○	○				
		Standard		3ZERO			●	●				●
		+1		4Plus1			○	○				○
		+2		5Plus2			○	○				○
		+3		6Plus3			○	○				○
	Page Type	Variable Length	PageType	0Variable	●	●	●	●	●	●	●	●
		Fixed Length		1Fixed	○	○	○	○	○	○	○	○
	Top Search	Disable	TopSearch	0Disable					●	●	●	
		Enable		1Enable					○	○	○	
Cut Options (Cutter)	Page Cut Type	No Cut	PageCutType	0NoCutPage	●			●	●	●	●	●
		Partial Cut		1PartialCutPage	○			○	○	○		○
		Full Cut		2FullCutPage					○	○	○	○
	Document Cut Type	No Cut	DocCutType	0NoCutDoc	○			○	○	○	○	○
		Partial Cut		1PartialCutDoc	●			●	●	●		●
		Full Cut		2FullCutDoc					○	○	●	○
		Tear Bar		3TearBarDoc						○		
Feed Options (TearBar)	Page Feed Type	No Feed	PageCutType	0NoCutPage		●	●					
		Tear Bar		1TearBarPage		○	○					
	Document Feed Type	No Feed	DocCutType	0NoCutDoc		○	○					
		Tear Bar		1TearBarDoc		●	●					
Data Treatment Recover From Error	Data Treatment Recover From Error	No Use	DataTreatment RecoverFrom Error	0NoUse			○	○	○	○		○
		Clear Data By Document Unit		1ClearDataBy Document Unit			●	●	●	●		●
Cash Drawer Control	Cash Drawer	Do Not Open Drawers	CashDrawer Setting	0DoNotOpenDrawers	●	●	●	●	●	●	●	●
		Open Drawer 1		1OpenDrawer1	○	○	○	○	○	○	○	○
		Open Drawer 2		2OpenDrawer2	○	○	○	○	○	○	○	○
		Open Drawer 1 and 2		3OpenDrawer3	○	○	○	○	○	○	○	○
	Cash Drawer 1 Pulsh Width	10 milliseconds	CashDrawer1 PulseWidth	0Millis10	○	○	○	○	○	○	○	○
		100 milliseconds		1Millis100	○	○	○	○	○	○	○	○
		200 milliseconds		2Millis200	●	●	●	●	●	●	●	●
		300 milliseconds		3Millis300	○	○	○	○	○	○	○	○
		400 milliseconds		4Millis400	○	○	○	○	○	○	○	○
		500 milliseconds		5Millis500	○	○	○	○	○	○	○	○
		600 milliseconds		6Millis600	○	○	○	○	○	○	○	○
		700 milliseconds		7Millis700	○	○	○	○	○	○	○	○
		800 milliseconds		8Millis800	○	○	○	○	○	○	○	○
		900 milliseconds		9Millis900	○	○	○	○	○	○	○	○
		1000 milliseconds		10Millis1000	○	○	○	○	○	○	○	○
		1100 milliseconds		11Millis1100	○	○	○	○	○	○	○	○
		1200 milliseconds		12Millis1200	○	○	○	○	○	○	○	○

*TSP143 (カッターモデル) : TSP100IIW / LAN / BI / U, TSP100IU, TSP143U, TSP143GT, TSP143LAN

**TSP113 (ティアバーモデル) : TSP113U, TSP113GT, TSP113LAN

	機能名（ドライバ表示）		コマンド指定名称		対応機種							
	option	value	[option]	[value]	TSP 143 *	TSP 113 **	TSP 651	TSP 654/654II	TSP 700II	TSP 800II	TSP 1000	mPOP
Buzzer1 Control / Buzzer2 Control	Buzzer1 / Buzzer2	No Use	Buzzer1Setting /	0NoUse			●	●	●			
		Document Top	Buzzer2Setting	1DocumentTop			○	○	○			
		Document Bottom		2DocumentBtm			○	○	○			
	Buzzer1 - On Time / Buzzer2 - On Time	20 milliseconds	Buzzer1OnTime /	0Millis20			●	●	●			
		40 milliseconds	Buzzer2OnTime	1Millis40			○	○	○			
		100 milliseconds		2Millis100			○	○	○			
		200 milliseconds		3Millis200			○	○	○			
		500 milliseconds		4Millis500			○	○	○			
		1000 milliseconds		5Millis1000			○	○	○			
		2000 milliseconds		6Millis2000			○	○	○			
		5000 milliseconds		7Millis5000			○	○	○			
	Buzzer1 - Off Time / Buzzer2 - Off Time	20 milliseconds	Buzzer1OffTime /	0Millis20			●	●	●			
		40 milliseconds	Buzzer2OffTime	1Millis40			○	○	○			
		100 milliseconds		2Millis100			○	○	○			
		200 milliseconds		3Millis200			○	○	○			
		500 milliseconds		4Millis500			○	○	○			
		1000 milliseconds		5Millis1000			○	○	○			
		2000 milliseconds		6Millis2000			○	○	○			
		5000 milliseconds		7Millis5000			○	○	○			
	Buzzer1 - Repeat / Buzzer2 - Repeat	1	Buzzer1Repeat /	0Repeat1			●	●	●			
		2	Buzzer2Repeat	1Repeat2			○	○	○			
		3		2Repeat3			○	○	○			
		5		3Repeat5			○	○	○			
		10		4Repeat10			○	○	○			
		15		5Repeat15			○	○	○			
		20		6Repeat20			○	○	○			
Peripheral Control	Peripheral	Do Not Activate	PeripheralSetting	0DoNotActivate							●	
		Activate		1Activate							○	
	Peripheral Activation Pulse Width	20 milliseconds	Peripheral Activation PulseWidth	0Millis20							○	
		100 milliseconds		1Millis100							○	
		200 milliseconds		2Millis200							●	
		300 milliseconds		3Millis300							○	
		400 milliseconds		4Millis400							○	
		500 milliseconds		5Millis500							○	
		600 milliseconds		6Millis600							○	
		700 milliseconds		7Millis700							○	
		800 milliseconds		8Millis800							○	
		900 milliseconds		9Millis900							○	
		1000 milliseconds		10Millis1000							○	
		1100 milliseconds		11Millis1100							○	
		1200 milliseconds		12Millis1200							○	

※ ● はデフォルト設定値です。

6. 動作確認環境

- MacOS X 10.9 Intel, Mac OS X 10.10 Intel, Mac OS X 10.11 Intel, Mac OS X 10.12 Intel

- ▶ iMac

- OS: Mac OS X 10.9

- Mac OS X 10.10

- Mac OS X 10.11

- Mac OS X 10.12

- CPU: 3.06GHz Intel Core2 Duo

- RAM: 4GB 1067MHz DDR2 SDRAM

7. 改訂履歴

Rev. No.	改訂年月	内 容
Rev. 1.0	Jan. 2009	新規発行
Rev. 2.0	Jun. 2009	誤記修正
Rev.3.0	Mar. 2010	TSP800II 対応
Rev. 4.0	Sep. 2010	star cups driver 3.2.0 対応 Data Treatment Recover From Error・Buzzer コマンドの対応機種追加
Rev. 5.0	Feb. 2013	TSP654II 対応 Mac OS X 7,8 対応
Rev. 5.1	May 2013	誤記修正
Rev. 6.0	Jan. 2015	Bluetooth 対応
Rev. 6.1	Jun. 2016	Mac OS X 10.11 対応 TSP100IIIW / LAN / BI 対応
Rev. 6.2	Sep. 2016	スター精密クラウドサービス対応 Mac OS X 10.12 対応 Mac OS X 10.5, 10.6, 10.7, 10.8 サポート終了
Rev. 6.3	Mar. 2017	TSP100IIIU, mPOP 対応



URL: <http://www.star-m.jp>